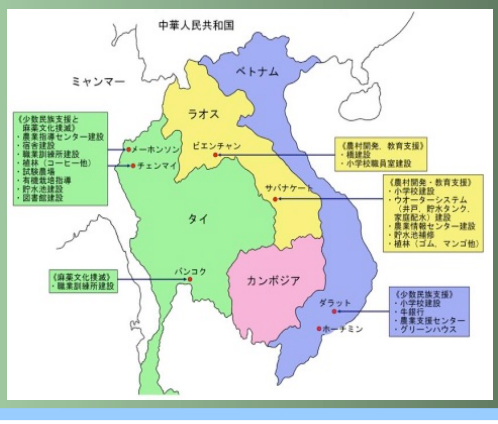
特定非営利活動法人 アイユーゴー通信 第２４号

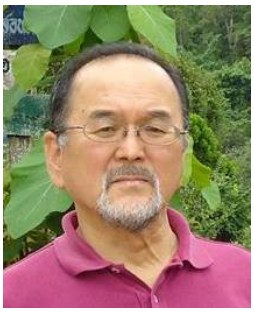
〒590－0432　大阪府泉南郡熊取町山の手台 1-22-10
TEL / FAX: 072-452-5680
e-mail： snittaskmj0715@yahoo.co.jp
homepage： http://aiyugo.fc2web.com

## 目　　次

1）ごあいさつ
2）タイの自立支援事業の現状
3）ラオス・ビエンチャンの道路整備と安全対策の要請
4）後記



## ごあいさつ　　理事長　新田幸夫



いつもご理解とご協力ありがとうございます。

アイユーゴー通信で皆様にご報告させていただいた最近の内容は、マダガスカルの事業が中心でありました。おかげさまで、植林、井戸・トイレ建設によるコミュニティ作り、さらにコンタクトパーソンとの共働関係も安定しています。一方、マダガスカルにかかわった期間は、タイ、ラオス、ベトナムでの事業は控えていました。各国の現場がどのような自主事業を展開するかを見極めたいと考えたからであります。その間、現地の代表とは必要に応じてメールあるいは電話で連絡しあっていました。そのなか、タイ代表ワチラとは、毎年２月と 8 月にはマダガスカルからの帰路、経由地バンコクで会食をしつつ現状報告を聞いていました。このたびは、この春のワチラからの報告に基づいて現地の活動状況をご紹介させていただきます。

## タイの事業地における自立支援事業の現状

ソムヨッツ(Somyos)は、本会が建設した農業支援センター(右:写真)を事務所にして、スティップ(Suthip)と数年前にＫＩＤ(農業開発情報センター)という NGO を作りました。当初、ワチラはこの県の特別地区の副知事を務め、行政側の立場から親身に彼らの相談等に乗っていました。現在、ソムヨッツはここタイ北部のパンマパー地区で農業指導者として活躍をしています。

メーホンソン県はタイ北西部に位置し、その中でもっとも北側のパンマパー地区に事業地があります。本会が協力を始めたころは麻薬にかかわっていた住民が多くいたそうです。麻薬文化の村ではないかとソムヨッツに尋ねたことがあるほどです。本会は、ソムヨッツたちが、農産物を作って麻薬にかかわらないようにしたいとの申し出に、農業情報支援センターを建設し、農業に触れあう場所を提供することになりました。**(現地の人はファーストネームのため敬称略)**

＜ 農 業 情 報 支 援 セ ン タ ー ＞

（上）キッドセンター(KID Center)で、左からワチラ氏、スティップ氏(キッド副代表、パンマパーの村長)、ソムヨッツ氏。 バックの建物は農業情報支援センターで、(公財)日本国際協力財団様の助成によります。

センターの事務所内で打ち合わせ。（左：ソムヨッツ氏と右：スティップ氏）

センター内にある有機肥料を作る現場

豚舎

収穫物集積場

**ソムヨッツはパンマパー地区の学校や自治体の有機農業の指導者として中心的な役割を果たしています。**

アイユーゴーはソムヨッツを中心にして、農業情報支援センター、小ダム建設、センター裏のタンク設置、さらに住民とともにパイロットファームを作り、コーヒーの植栽、その他樹木も植林してきました。ソムヨッツはパンマパーのコメつくりセンターで働いていたというだけあって、指導は上手でした。

左：前列、中央の青シャツがソムヨッ

アイユーゴー・タイ代表のワチラにより

センターはパンマパーの土壌改良センターの役割を果たすようになったということです。ソムヨッツは現在パンマパー地区の土壌品質改良課の土壌の専門家として指導しています。

最近、キッドセンターは、従来の焼畑農法の代わりに、新しい技術を伝える拠点として地元の役所によって選ばれました。これまで多くの村では収穫が終わった後、土壌の改良を図るために焼畑を行ってきましたが、枯葉等を焼きました。火が他の樹木に燃え移り、二酸化炭素が発生して大量のもやの原因となり、人体に悪影響を与えてきました。

①収穫直後のバナナ　②皮をむく　③乾燥させる　④肥料としてのバナナ

キッドセンターはオーガニックマーケット（有機肥料市場）を売り物にし、有機肥料になるドライバナナなどの販売も行っています。有機肥料を使用することで、焼畑をせずに土壌を改良することができるのです。有機肥料の原料としてバナナが必要になってきました。そのため、キッドはパンマパーにバナナを植栽するように奨励しようと考えています。

バナナの集積場

センター裏の貯水タンク

キッドのメンバーでパンマパーの村長であるスティップの協力を得て、ソムヨッツはパンマパーの農業家たちの代表に推挙されました。さらにソムヨッツはタイ王国の農業連合組合に入りました。それから彼はキッドセンターが有機農法を実践的に指導する中心的な場となるように、またパンマパーの少数山岳民族の人たちが有機農法で農

業を行うよう努力を続けています。

農業支援センター（ＫＩＤセンター）

## ～後継者の条件～

60 歳代のソムヨッツは、自分の後継者を探しています。しかし、後継者となる人物は、キッドセンターを維持し発展させ､有機農法の技術を使える人物でなければなりません。その人物は、限られたスペースで自分の家族を養えるだけの農法を身につけている必要があります。そういう人物であれば、他の人たちが彼の後について来ることになるとソムヨッツは話しています。

ワチラはソムヨッツの農業全般に関する知識は優秀だと認めています。本会は、ソムヨッツにラオスとマダガスカルでの農業指導を実践してもらったお願いしたこともありました。

| No | The name of village | Coffee Planted | Area Rai |
|---|---|---|---|
| 1 | Sobpong | 4,000 | 12 |
| 2 | Namrin | 20,000 | 50 |
| 3 | Mea u mong | 9,900 | 25 |
| 4 | Gued sam sib | 15,000 | 32 |
| 5 | Dong ma fai | 92,00 | 22 |
| 6 | Sean kum lue | 12,000 | 30 |
| 7 | Wanaluong | 13,000 | 35 |
| 8 | Mea la na | 10,000 | 25 |
| 9 | Ja bo | 17,000 | 45 |
| 10 | Pha deang | 4,000 | 10 |
| 11 | Huiy heah | 72,00 | 18 |
| 12 | Ya pa neah | 94,00 | 24 |
| 13 | Mai hoong | 23,500 | 60 |
| 14 | Pang bon | 4,500 | 11 |
| 15 | Poong yam | 4,500 | 11 |
| 16 | Nam hoo pha sue | 8,200 | 20 |
| 17 | Pang kam noi | 2,000 | 5 |
| 18 | Mueng pam | 15,000 | 42 |
| 19 | Pang kam | 6,000 | 15 |
| 20 | Tum lod | 5,000 | 13 |
| 21 | Bo krai | 5,000 | 13 |
| 22 | Pha cha ruen | 8,000 | 20 |
| 23 | Nam pong | | |
| | Total | 212,400 | 87.77 hec |

*The list of Coffee Plantation（2013 年夏現在） なお、コーヒーの樹木の総数の 40%はソムヨッツによるもの。

ソムヨッツはパンマパーに対して多大な協力を続けてくれたアイユーゴーに感謝の意を表したいと、さらに､「自分は村人の農業の学習の場としてキッドセンターを運営し、公共の利益のために使い続けると新田氏とアイユーゴーのメンバーに伝えてください」と言っていたとのことです。

## ラオス･ビエンチャンの道路整備と安全対策の要請

アイユーゴー副理事長　加藤鐘三

平成27年6月5日から9日にかけて、ラオスの首都であるビエンチャンにて、交通安全推進に関する視察を行ってきました。

日本の交通安全対策は、戦後の経済発展に伴い、交通事故が激増する「交通戦争」と言われ、年間１万６千人もの尊い命が失われる時期があり、それに対し、様々な機関が協力し対策を進めることで、ピーク時の約 1/4 とすることができました。

現在、東南アジア諸国では、東南アジア諸国を結ぶ大動脈となる経済回廊と言われる道路インフラ整備が急ピッチで進められています。そして各国の経済発展、人的交流は大きく進展することが予想されます。

### ～ビエンチャン警察署の交通課の訪問～

交通死亡事故の多くは、①飲酒運転によるもの、②古い車の整備不良によるもの、③道路網の未整備によるもの、④雨天時によるもの、に分類されていて、現在交通安全キャンペーンを進めているとのことでした。本会からの協力を求めてきました。

（左から、加藤、ビエンチャン警察署長、カッファさん）

### ～ビエンチャン特別行政区の運輸省の訪問～

さらに道路整備の実態を知るためにビエンチャン特別行政区の運輸省を訪問しました。午前中早くからラッシュアワーがあり、どのように改善して、交通事故を減らし、住民の安全を確保すればいいか具体的なアイデアが欲しいと迫られました。交通安全に対して非常に高い意識で取り組んでいることが感じられました。

ビエンチャン特別行政区の運輸省の訪問の様子

### ～交通安全の企業を訪問～

実際にビエンチャンで交通安全の工事を行っている企業を訪問しました。我々の訪問に対し、温かく受け入れて頂き、機械や設備に対して詳しく説明して頂きました。道路のライン施工やサインの制作、設置も行っている会社で、ライン施工機は日本製のもので、ODA を通じて持ち込まれていました。又、看板の制作は、中国製の機械を使用して

いました。

交通安全の仕事をされている企業の前で

## ～ビエンチャン特別行政区 企画開発課及び、交通課安全推進局の訪問～

ビエンチャン特別行政区の企画開発課を訪問し、交通安全に対し様々な意見交換を行いました。推進本部長は、日本の交通安全対策の経験とノウハウを高く評価されていました。早速対策をして欲しい箇所を具体的にお願いしたいと訴えてきました。

ビエンチャン特別区投資推進本部長の訪問の様子

## ～ビエンチャン交通課安全推進局の訪問～

交通課安全推進局でも日本の交通安全に対する技術を高く評価されていて、ラオスでの今後の交通安全対策の計画や問題点についてお話を伺いました。

ビエンチャン特別区投資推進本部長の訪問の様子

## ～視察・訪問を終えて～

今回訪問した全ての部署で、発展を続けているラオス経済と、交通インフラ整備に対し、交通安全対策の必要性を強く持たれていました。同時に日本の交通安全に対する経験とノウハウを高く評価していました。

現在、アジア経済回廊の道路インフラ整備により、アジア諸国の人的交流が盛んに行われるようになります。又、既にODAなどで整備されている道路に対し、既存の道路接合部などで、安全対策の必要箇所も数多く確認されました。以前に日本が経験した「交通戦争」と言われる問題が起こることも十分予測されます。

ODAなどにより急ピッチに進む道路インフラ整備

ビエンチャン市街地の交通の様子。横断歩道の路面標示箇所に、仮設の中央分離帯ブロックされている。

この視察は、新田理事長がアイユーゴーのメンバーは、地域や職業が全く異なる異業種メンバーの集まりで構成されていて、其々の仕事を通じた専門知識を、何か途上国に活かすことができないか？との問いかけに対し、私が携わっている交通安全対策の仕事の経験を、現地で活かすことはできないのかと考え、今回視察を行うことと成りました。海外からの援助を受け、農民居住者の都市への移住が増加するにつれ、道路網の整備は欠かせません。一方、経済的発展には都市から農村への安全な交通網が必要となります。

【訃報のご報告】

アイユーゴー・ラオス代表のカッファ氏が 2016 年 6 月 17 日ご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

【感　謝】

（特活）アイユーゴー通信をご覧いただき、誠にありがとうございます。私たちは、自らの知識・技術・経験と奉仕の精神を持って、協力を必要とする人たちの自立を目指した開発援助を通じて、その地の文化を尊重理解し、草の根の友好親善と、自らの人間としての価値を高めることを目的とし活動します。貧しい人たち、困った人たちがいれば、その人たちのそばに行ってみませんか。そして、何かできることがあれば、自分でしてみませんか。皆様のご参加・ご協力を心からお待ちしております。

e-mail：snittaskmj0715@yahoo.co.jp
HP： http://aiyugo.fc2web.com

【振込先】

［特定非営利活動法人 アイユーゴー 理事長　新田幸夫］
三井住友銀行 阿倍野支店　：　7,479,470
ゆうちょ銀行　：　00930-9-144252

発行：新田幸夫　編集：加藤鐘三　印刷：（株）フジカク